



清水港港湾建設工事安全協議会との 合同防災訓練を実施しました

清水港湾事務所では、地震等で被災した港湾施設の復旧業務に関して、港湾工事を行う建設会社で構成する「清水港港湾建設工事安全協議会」と、平成22年4月1日付けで協定書を締結しており、被災時に速やかに復旧業務を実施できるよう、毎年、合同訓練を実施しています。

今年度も、清水港が地震で被災した場合を想定し、復旧作業のシミュレーション及び被災時の業務発注手続きの確認のため、机上訓練を行いました。

また、実態に即した取り決めとするため、協定書の改正内容を検討するとともに、被災後の初動において最も重要となる、災害用通信手段の重要性を再確認し、導入機種検討のため通信訓練を行いました。

今後も自治体や民間企業との連携を強化し、災害対応力の強化を図ってまいります。

1. 実施概要

日時：令和6年12月2日（月）13：30～15：00
場所：清水港湾事務所 3階防災会議室

2. 実施内容等

復旧業務にかかるシミュレーション訓練

- ・被災状況、復旧優先度、作業員・資機材等を総合的に判断し、復旧方針を検討
- ・被災時の業務発注手続きを確認

災害用通信機器の通信訓練

- ・清水港湾事務所庁舎と清水港内の工事現場との間で通話テストを実施

3. 参加機関

清水港港湾建設工事安全協議会（会員のうち清水港湾事務所近傍の6社参加）
清水港湾事務所

4. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所
副所長 屋敷（やしき）、総務課長 神原（かんばら）
TEL：054-352-4146
E-mail：pa.cbr-shimizukikaku@mlit.go.jp



被災状況確認及び復旧方針のシミュレーション訓練



被災時の復旧業務発注手続きの確認



被災時に有効な通信手段を確認するための通信テスト